East View Archive Editions

南シナ海島嶼問題データベース 1877-1988

South China Sea Island Disputes: 1877–1988

1877年から1988年にわたる、南シナ海と、そこに浮かぶさまざまな島々をめぐる国際的な領有権争いの一次資料を収録。中央海域のスプラトリー諸島、北西部のパラセル諸島、北東部のスカボロー礁を含む3つの島嶼群の領有権は、世界でも最も長く複雑な領土紛争の課題となっており、数多くの近隣諸国やヨーロッパの旧宗主国がこの地域の領有権を主張しています。これらの島々の大半は真の島ではなく、場合によっては水没した岩礁や浅瀬に過ぎませんが、海洋覇権追求のために、実際に暴力と流血の舞台となってきました。

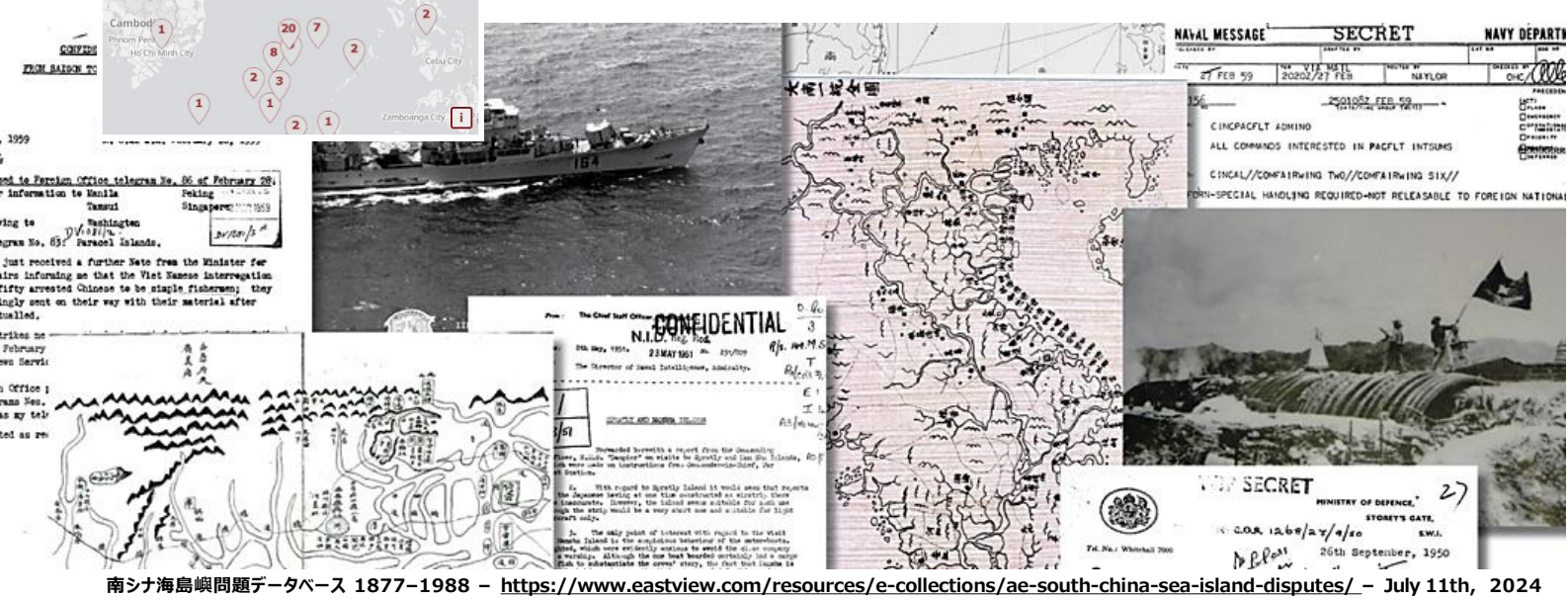
このデータベースは、19世紀末の植民地支配とヨーロッパによる領有権主張の初期から、20世紀末のベトナム社会主義共和国と中華人民共和国の武力衝突に至るまでの記録資料で構成されています。証拠書類の大半は西側諸国のもので、その中には原告政府の文書も含まれています。入手しやすいという理由で、西側の公文書館からの文書が強調されている傾向はありますが、西側諸国政府による文書の中には、歴史的概観や法的分析を提供するものが含まれています。第二次世界大戦前後の極めて重要な数十年間に重点を置きつつ、奥深い歴史的主張のいくつかの例を紹介するために、1870年から1990年までの期間をデータベース化しました。

・データベース仕様

収録年代：1877-1988年
ドキュメント数：303
ページ数：707
言語：英語、フランス語、中国語
形式：PDF、ページベース
製作：East View Information Services（米国ミネアポリス）
プラットホーム：East View Archive Editions

『南シナ海島嶼問題データベース　1877-1988』は、複数の国際的利害が隣接するこの地域における歴史、貿易、外交の複雑な関係性を紹介します。中国は「漢の時代にまで遡る」と主張し、ベトナムに対する中国の主張の一部は「現代のベトナム国家の前身は中国の属国であった」というものです。ベトナムの主張の中には、特にパラセル諸島に関するフランスの権利の継承に関わるものもあります。一部の領有権主張者間の関係は、何世紀にもわたる対立と拮抗を反映しており、それが島嶼問題を悪化させ、武力紛争にまで発展しています。本データベースで紹介する文書は、こうした緊張関係を反映したものであり、歴史的・法的背景は、すべての当事者の立場を研究する上で極めて重要です。

データベースの各文書は、多くのタグが付与され、全文検索が可能で、動的に見つけ出すことができます。利用者は、人物、場所、トピック（データベース編集者が設定）、および文書のタイプ（例：発送物、地図、電報、書簡など）でブラウズすることができます。各オブジェクトは、文書の地理的な由来地と、データベース内のそのアイテムに関連する場所の両者を基に地図表現（マップビュー：左図参照）されます。



南シナ海島嶼問題データベース 1877–1988 – https://www.eastview.com/resources/e-collections/ae-south-china-sea-island-disputes/ – July 11th, 2024

お問い合わせ先
紀伊國屋書店
株式会社紀伊國屋書店　デジタル情報営業部
メールアドレス：online@kinokuniya.co.jp
電話番号：03-6910-0518